

第3回公共交通における事故による被害者等への支援のあり方検討会 議事概要

1. 日時

平成 21 年 12 月 18 日（金） 10：00～12：00

2. 場所

大手町サンケイプラザ 3 階 3 1 1 会議室

3. 出席者

富田座長、垣本委員、高木委員、中島委員、林委員、大久保委員、下村委員、美谷島委員、関口委員、小滝委員、最勝寺委員、堀家委員、中桐委員、嘉村委員、蝦名委員代理山本氏、渡邊委員、篠原委員代理松浦氏、菅井委員、栗津委員、高木委員、開出委員代理森田氏、福田委員代理山之内氏
JR 西日本 中村常務、森福知山線列車事故ご被害者対応本部副本部長

JAL 酒井執行役員・安全推進本部副本部長、赤坂安全推進本部部長

4. 議題

(1)事業者による支援状況等について

(2)支援ニーズ調査（ヒアリングの途中経過、アンケート調査の実施方法等）について

(3)NTSB（国家運輸安全委員会）の被害者支援の概要等について

(4)その他

5. 概要

○富田座長から、被害者等のニーズを的確に把握するためのアンケートが重要であるので調査項目等について多くの意見をお願いするとともに、事業者からこれまでの支援状況について話していただくので前向きに活用することが大切である旨、挨拶があった。

(1) 事業者による支援状況等について

○JR 西日本から、福知山線列車脱線事故及び信楽高原鉄道列車衝突事故における被害者等への支援状況について説明があったほか、以下のような課題・反省点について説明があった。

- ・事故直後の救助活動のあり方について、実践的なマニュアルの整備や関係機関と連携した訓練が欠けていた。現在は、社員必携と腕章を常時携帯するほか、様々な訓練などを行っている。
- ・安否情報を共有化、一元化して十分な情報提供を行うことができなかった。現在は、安否情報を集約して提供できる仕組みにしている。
- ・加害当事者からの支援に抵抗感を感じる方もいる。日常生活の様々な支援や心のケアについて、経費は事業者が負担するとして、第三者的な立場から支援できる組織、団体があるとよいのではないか。
- ・PTSD 等の心の病に関して、医療機関によって診断基準や治療対応にばらつきがあり、苦労している。効果的なケアのあり方や治療方法の開発を期待したい。

○JAL から、日本航空 123 便墜落事故における被害者等への支援状況について説明があったほか、以下のような課題・反省点について説明があった。

- ・事故直後に的確な情報収集ができず、十分な情報提供が行えなかった。公的かつ専門的な機関が一元的に情報の収集、提供を行う仕組みがあるとよいのではないか。
- ・加害当事者からの支援には限界がある。特に心のケアについては、例えば NPO のような中立

的機関の専門家が担うことができるとよいのではないかと。

- ・遺族は早く事故原因を知りたいと思うが、加害当事者は事故原因について説明できる立場にない。事故原因については、公的な機関が十分な説明を行ってほしい。
- ・残存機体や遺品の保存について、長い間遺族の思いに応えられなかった。現在では安全啓発センターを設立し、残存機体や遺品を展示し、社員教育や事故の風化防止に役立てている。

○委員から以下の意見があった。

- ・心療内科医、精神科医であっても、PTSD に対する理解が十分でなかったり、判断基準があいまいであったりするというのが現状ではないか。
- ・加害者側の社員が世話役として支援を行うのではなく、第三者が支援した方がよいという意見は遺族側にもある。
- ・小規模の事業者が起こした大規模事故の場合に、JR 西日本や JAL のような大企業と同じような支援を行うことはできないのではないかと。
- ・JR 西日本の鉄道安全考動館や JAL の安全啓発センターは非常に貴重な情報センターであり、役割を強化し、活用していくことが重要ではないかと。

(2) 支援ニーズ調査(ヒアリングの途中経過、アンケート調査の実施方法等)について

○事務局から、過去の4つの事故（JR 西日本福知山線列車脱線事故、信楽高原鉄道衝突事故、日本航空 123 便墜落事故、中華航空 140 便墜落事故）の被害者等を対象にしたヒアリングの途中経過及び日本航空 123 便墜落事故、中華航空 140 便墜落事故の被害者等を対象にしたアンケートの項目案について説明があった。

○委員からの意見は後日事務局に連絡することとした。

(3) NTSB(国家運輸安全委員会)の被害者支援の概要等について

○事務局から、NTSB（国家運輸安全委員会）の組織、被害者支援の内容、航空災害家族支援法、航空災害家族支援計画等の概要及び富田座長、垣本委員が参加する2月の視察における調査項目案について説明があった。

○委員からの意見は後日事務局に連絡することとした。

以上